年度末報告書（資金分配団体）

● 提　出　日　：　2022 年年 5 月 10 日
● 事　業　名　：地域支援と地域資源連携事業
● 資金分配団体　：公益財団法人　長野県みらい基金
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1-1. こども若者及びその家族が容易に訪れることができる居場所が生まれる。	こども若者・その家庭の居場所設置数（実数把握）	1 か所/地域	2022 年 3 月	小海町 1 カ所 茅野市 1 カ所 伊那市 2 カ所、連携 25 団体（中間評価時 21→25） 飯田市 1 カ所 安曇野市 3 カ所 千曲市 1 カ所	2
1-2. 居場所において、地域で必要とされるサービスを提供でき	①食事支援提供日数 ②学習支援提供日数	①6 日/週 ② 6 日/週	2022 年 3 月	伊那市・子ども食堂 25 回（中間評価時か	

る。	（実数把握） ③相談カウンセリング日数			ら5回プラス)。2020年度のお弁当配布数は619となった。 安曇野市：カウンセリング数週6回以上 千曲市：学習支援 2020年度245名 2021年度4月～3月 349名 (うち、不登校支援 2020年度28名　2021年度4月～8月　45名) ※令和3年7月現在 千曲市内小学校不登校者数16名、中学校不登校者数　38名	
2-1. 重層的な困難を抱えている対象者にアクセスし、何らかのサービスを提供できる。	①アクセスした対象者数（実数把握） ②サービスを提供した対象者数及びアクション者数		2023年3月	茅野市：就労訓練相談 実際の相談31人　相談回数36回 生活困難相談　実際の相談17人　問い合わせ36件	

				安曇野市：対象者へのアクセスが事業開始から 180 名となり事業開始前の 80 名を大きく上回った。 中間評価以降　30 名プラス（アクセス後のケアが疎かにならないよう、無理に数は増やさなかった（対象を絞った）。	
3-1. 地域の産業等と連携し、雇用機会・新たな地域の担い手を創出し、事業の継続力をつける。	①連携した企業数（実数把握） ②体験就労者数（不定期）（実数把握）	1 社/地域	2022 年 3 月	茅野市 3 社と連携ができ（中間評価維持プラス 1 社）就労体験の内諾を得たが、コロナの影響で、企業側が就労体験に慎重になり、未実施。直近に実施予定。 安曇野市 2 社	
4-1. 地域の高齢者が地域産業・文化を活用して、居場所を支える存在となる。	①居場所において行うことができる作業プロセスの創出	①希望者が全員作業にあたることができる作業工程数 ③　5 人	2022 年 3 月	伊那市：高齢者がボランティアに来てくださり、居場所の支となっ	

	②高齢者参加者数 （実数把握）			ている。3 人 飯田市：人形劇活動の場に年 57 日、延べの参加 77 人があり居場所の支えとなっている。 安曇野市：地域の高齢者が農業の指導を主体的にしてくださり、居場所の支えとなっている。3 名	

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
5-1. 各地域で現地支援チーム（地域協力体制）を構築する。	①対象分野の専門家招聘 事業運営における経営力向上	①　研修会回数 1 回/年 ②　観察	①・② 2023 年 3 月	小海町：医師・教育委員会・福祉関係者などによる定例会で、地域の協力体制が構築されている。2021 年度 12 回 伊那市：まちづくり団体との連携→宮田村に	

				連携団体 長野市：連絡調整会議 9 月に開催した第 1 回を含め計 4 回。長野県社協、市町村社協、長野県労 働者福祉協議会、福祉施設団体など 12 団体が参加。 システムは試験的に稼働する段階となった	
6-1. スキルあるボランタリースタッフを育成する。	対象分野の専門家招聘	研修会回数 1 回/年	2023 年 3 月	安曇野市：30 名を対象に引きこもり者へのアウトリーチ能力を身に付け高めるための講習会を 3 回実施	

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況

A：変更項目 ☑ 変更なし　☑ 短期アウトカムの内容　☑ 短期アウトカムの表現　　☑ 短期アウトカムの指標　☑ アウトカムの目標値 *中間評価時に見直した（主に追加）アウトカム（数団体）に対しての表現、内容、指標、目標値などを最終年度初頭に面談、追記修正する。
3.非資金的支援の活動に関する報告
中間評価におけるエピソード、ナラティブな成果（遺贈寄付アウトプット、アウトカム）をそれぞれ 7 ヶ所 6~8 分程度の映像コンテンツにまとめ youtube にアップした。休眠事業の告知にも活用し、長野放送の協力もあり、7 週に渡って午後の情報番組でオンエア、そして 3 月末の日曜日午後、1 時間特別番組として放送された。 https://www.mirai-kikin.or.jp/crown-program/1484/
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
実行団体の活動は対象者とのコミュニケーションが必須であり、コロナ禍において、細心の注意をはらいながら事業を行うよう支援をした。 伴走支援もオンラインのみでは現場の状況がつかめないので、感染状況を見ながら現地に向かい、コロナ対策をしながら行った。

① 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している　　☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している　☑ イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

長野放送 ・午後の情報番組枠　計７回　７分程度 ・3 月 27 日（日）午後　1 時間特別番組 2.広報制作物等 中間評価時点の上記映像コンテンツと連動した冊子作成中 3.報告書等 報告冊子作成 4.イベント開催等（シンポジウム・フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑ 全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
2.　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。

☑ はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑ はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑ 内部監査を実施　　☑ 外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）